

フルート音楽の進化を辿る貴重な一枚  
素晴らしき時間Ⅱ “ラヴィブレ”

12/20 on sale

立花千春 (フルート)  
山田武彦 (ピアノ・オルガン)

バロックからコンテンポラリーまで、立花千春の美しい音色と、卓越した技術が冴え渡る。  
オルガンとの共演も興味深い。

【収録曲】

《ソナタ第2番ニ短調「ラ・ヴィブレ」》(M. ブラヴェ)

1. I アンダンテ
2. II アルマンド
3. III ガヴォット
4. IV サラバンド
5. V アレグロ
6. 祈り (サン＝サーンス)
7. 「ニヴェルのジャン」幻想曲 (P. タファネル)

《組曲》(P. ゴーベル)

8. I 祈り
9. II 東洋の子守歌
10. III 舟歌
11. IV スケルツォーワルツ

12. ディヴェルティメント (G. モンブラン)
13. おうむがえし (山田武彦)
14. ジャン・セバスチャン (山田武彦)

《C.ドビュッシーのフルートソナタ》(山田武彦)

15. I
16. II 間奏曲
17. III 終曲



《 FLCP-21029 POS:4580272790374 税込価格 2.800 円 》



## ～Profile～

### 立花千春/Chiharu Tachibana (フルート)

仙台市出身。パリ国立高等音楽院、エコール・ノルマル音楽院、H・ベルリオーズ音楽院を、全てプルミエプリ（第1位）にて卒業。

1994年パリ国際室内楽コンクール第3位、95年ルーマニア国際フルートコンクール第2位、同年第7回日本フルートコンベンションコンクール第1位、アルル国際室内楽コンクール（フランス）第1位、イタリア“シリクス”国際フルートコンクール第1位、他、国内外の多数のコンクールで上位入賞。水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・フェスティヴァルへの参加等、様々な演奏活動を展開している他、各地でのリサイタルを行い、好評を博している。

CDに「H. ソーゲ～室内楽曲」（Disque Sonpact）、「20世紀のフランス音楽～アンサンブル・トリトン2」（REM）、「CRYSTAL BREATH」（東芝EMI）、「Density21.5」（CAFUA）、「RAVEL」（CAFUA）では、ハチャトゥリアンのVn協奏曲を吹奏楽団と共演、いずれもその「音色の明るさ」と「ダイナミックな演奏」が大変評価されている。YMM社より、「Disney Princess」、「Ave Maria」、「Fantastic Duet」、「Fantastic Duet(監)」、「立花千春のフルート教本（CD演奏付）」など多数出版。

これまで仙台フィルハーモニー、東京フィルハーモニー、京都交響楽団、札幌交響楽団、等と共演。フランス・トロワ市立音楽院講師をへて、現在、洗足学園音楽大学、上野学園大学、日本大学芸術学部、各非常勤講師。

---

### 山田武彦/Takehiko Yamada (ピアノ・オルガン)

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院作曲専攻修了。

1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞（プルミエ・プリ）を得て卒業。

フランスの演奏団体である2E2M、L'itinaire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。またフランス北部のランス市において大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。

2004年より“イマジンセタコンサート”音楽監督、2007年より“下丸子クラシックカフェ”ホスト役を担当するなど、ユニークなコンサートの企画にも参加している。

現在TV放送『レシピ・アン』出演中（毎週水曜23時～BSフジ）。

洗足学園音楽大学教授・作曲コース統括責任者、ピアノ&作曲マスタークラス・チーフ、山田武彦ピアノ伴奏塾塾長。

楽曲分析、和声法、対位法、伴奏法などの講座を担当。

全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。